

KAFS SESSION 3 2016.8.30 TUE 17:30-
at COLLEGE OF CROSS-CULTURAL AND
MULTIDISCIPLINARY STUDIES

Les maîtres fous JEAN ROUCH



Kumamoto Anthropology Film Society (KAFS)

第3回上映作品

Les maîtres fous (狂気の主人たち / The Mad Masters)

場所：グローバル教育カレッジ1階

言語：フランス語＋英語字幕

フランス / 1955年 / 28分 / カラー / 監督ジャン・ルーシュ

ジャン・ルーシュの作品 は、最も影響力を持つ実験的な民族誌的映像制作のひとつである。ルーシュは西アフリカとフランスにおける文化や儀礼的实践だけではなく、植民地化された土地やそこで暮らす人々、人種主義、人と人との関係に触れる。シュールレアリズムの影響、そして撮影対象との間に育まれた再帰的友情によって、ルーシュ作品はドキュメンタリーの人類学を越えた、芸術的かつ論議を引き起こすエスノ・フィクション・スタイルを生み出した。

『**狂気の主人たち**』[『狂気の主人公たち』とも訳される]は、ハウカというニジェールの憑依儀礼を記録した初期のエスノ・フィクションである。ルーシュは、当時国を統治していたイギリス植民地行政官を現地の人々が模倣し、批判した[とも解釈される]憑依儀礼を映画を通して観せる。本作品はアフリカ・イギリス領で上映が禁止され、その後もヨーロッパ、アフリカ両地域で波紋を呼んでいる。

(J. Rickard 英語版邦訳 & [] 内註：香室)

KAFS について / 文学部文化人類学・慶田研究室 HP :

<http://www.let.kumamoto-u.ac.jp/ihs/soc/anthropology/keida/2016/08/kafs-2-2nd-session-documenting-disability-karen-nakamuras-ethnographic-film.html>